

阪神・淡路大震災の記録

1 本震の状況

平成7年1月17日午前5時46分、阪神地区に強烈な揺れと甚大な被害をもたらした地震は、近畿地方を中心に、東北地方南部から九州にかけての広い範囲で震度7～震度1を観測した。この地震の概要は、次のとおりである。

地震の概要

日 時	平成7年(1995年)1月17日 午前5時46分51.8秒
地震名称	※平成7年(1995年)兵庫県南部地震
震央地	淡路島(北緯34度35.7分、東経135度02.2分)
震源の深さ	16km
地震規模	マグニチュード 7.3
津波	この地震による津波はなし
各地の震度	
震度 7	神戸市須磨区鷹取・長田区大橋・兵庫区大開・中央区三宮・灘区六甲道・東灘区住吉、芦屋市芦屋駅付近、西宮市夙川等、宝塚の一部、淡路島北部の北淡町、一宮町、津名町の一部
震度 6	神戸、洲本
震度 5	京都、彦根、豊岡
震度 4	岐阜、四日市、上野、福井、敦賀、津、和歌山、姫路、舞鶴、大阪、高松、岡山、徳島、津山、多度津、鳥取、福山、高知、境、呉、奈良
震度 3	山口、萩、尾鷲、伊良湖、富山、飯田、諏訪、金沢、潮岬、松江、米子、室戸岬、松山、広島、西郷、輪島、名古屋、大分
震度 2	佐賀、三島、浜松、高山、伏木、河口湖、宇和島、宿毛、松本、御前崎、静岡、甲府、長野、横浜、熊本、日田、都城、軽井沢、高田、下関、宮崎、人吉
震度 1	福岡、熊谷、東京、水戸、網代、浜田、新潟、足摺、宇都宮、前橋、小名浜、延岡、平戸、鹿児島、館山、千葉、秩父、阿蘇山、柿岡

(気象庁発表)

※政府は、災害の規模が特に大きいことに加え、今後の復旧・復興施策を推進する上で統一的な名称が必要となると考えられたことから、災害名を「阪神・淡路大震災」と呼称することを平成7年2月14日に閣議了解した。

2 被害状況

(1) 人的、物的被害等

		全	域	大	阪	府	
人的被害	死者	6,434人		31人			
	行方不明者	3人		0人			
	負傷者	重傷	10,683人		175人		
		軽傷	33,109人		3,414人		
		計	43,792人		3,589人		
住家被害	全壊	104,906棟		895棟			
		186,175世帯		3,406世帯			
	半壊	144,274棟		7,221棟			
		274,182世帯		17,199世帯			
	一部損壊	390,506棟		87,879棟			
	合計	639,686棟		136,338棟			
非住家	公共建物	1,579棟		-			
	その他	40,917棟		-			
文教施設	1,875箇所		-				
道路	7,245箇所		・府管理：29箇所 ・国等管理 全線通行止：5路線 一部通行止：2箇所				
橋梁	330箇所		-				
河川	774箇所		69箇所				
崖くずれ	347箇所		-				
ブロック塀等	2,468箇所		-				
水道断水	約130万戸		約2万2千戸				
ガス供給停止	約86万戸		大阪市、豊中市等の一部で停止				
停電	約260万戸		大阪市、豊中市等の一部で停電				
電話不通	30万回線超		回線輻輳によりかかりにくい状況				

(2) 火災

	出火件数				焼損床面積
	建物火災	車両火災	その他火災	合計	
全域	269件	9件	15件	293件	835,858m ²
大阪府	-	-	-	32件	2,500m ²

用途等 焼損区分	兵 庫 県	兵庫県以外			計
		住 家	非 住 家		
			公 共 建 物	そ の 他	
全 焼	7,035棟	1棟	0棟	0棟	7,036棟
半 焼	89棟	5棟	0棟	2棟	96棟
部 分 焼	313棟	8棟	2棟	10棟	333棟
ぼ や	97棟	6棟	1棟	5棟	109棟
合 計	7,534棟	20棟	3棟	17棟	7,574棟

※兵庫県の住家・非住家の別については不明

り 災 世 帯				
兵 庫 県	兵庫県以外			計
	全 損	半 損	小 損	
8,908世帯	16世帯	6世帯	39世帯	8,969世帯

※兵庫県の全損・半損・小損の別については不明

参考文献

○「阪神・淡路大震災について(確定報)」(平成18年5月19日総務省消防庁)

○平成7年1月17日 阪神・淡路大震災の記録 ～怖かった阪神淡路の大震災 大人になっても忘れない～ (大阪府)